

# スタジオから

🔑 寒さの厳しい時期ですね。風邪などひかれておりませんか？

1月1日に石川県能登半島を震央として発生した「令和6年能登半島地震」には、大きな衝撃を受けました。被害に合われた方々を思い、心を痛めるばかりです。一日も早い復興を祈っています。

2011年の東日本大震災以来、私たちは「復興、防災、鎮魂」を念頭に歩んできました。みやこハーバーラジオは本市のコミュニティFM局として、普段は地域に根差した放送をお届けしていますが、災害が発生した時こそ、その力を発揮する機会だと考えています。

みやこハーバーラジオでは、毎月第1、第3月曜日に朝、昼、夕方の生放送の中で、災害に関連する情報を紹介しています。「宮古市総合防災ハザードマップ」や「みんなの防

災手帳 岩手県版」の内容を抜粋し災害が発生しても冷静に行動できるよう、その“備え”として何が必要なのかをお伝えしています。

皆さんも今一度、避難用持ち出し袋の準備やその中身を確認するなどしてみてはいかがでしょうか。いざという時はラジオなどの情報の確保も大切です。

## ●「みやこハーバーラジオ」放送中！

FMラジオ【82.6MHz】

●インターネットの「リスラジ (ListenRadio)」  
<http://listenradio.jp>や「サイマルラジオ」  
<http://simulradio.info/>でもお聴きいただけます。

スマートフォンでは、無料アプリ「リスラジ (ListenRadio)」をダウンロードし聴くことができます。

※川井地域は川井テレビ (11ch) で放送中です

●X (旧Twitter) アカウント「@miyakofm」

●Instagramアカウント「miyako\_harbor\_radio」

●お便り・ファクス・メールお待ちしております

〒027-0076 宮古市栄町4番地 三陸鉄道本社1階  
 みやこハーバーラジオ宛て

FAX77-3936    ✉826@miyakofm.com

■問い合わせ 宮古エフエム放送 (☎77-3399)

## 俳句に親しむ

季題「獅子舞」「手袋」

さいとう白沙 選

### 【特選】

黒森の神を宿して獅子の舞ふ

撰待初子

評||黒森神社のご神体とあがめる権現様。その獅子頭を持って舞い、悪魔払いや火伏せなどを行う。

手袋をきっちりとはめ背を正す

加藤信子

評||リズムよく情景と気持を詠み込んでおり、表現に無駄がない。

### 【入選】

獅子舞に頭かまれてやくはらう

小野寺未来 (小6)

舞初や身軽に跳ねる若き獅子

阿部 稔

獅子舞や街に近づく笛太鼓

上坂初代

手袋を片方貸して暖分かつ

佐々木るみ子

バス停に手袋の右拾いけり

去石エイ子

獅子舞を終えて寛ぐ親子かな

島香 良

獅子舞に家内安全祈願せり

松崎光子

亡き夫の手袋をはめ杖をつく

山口リツ

## 【広告】

### いとう接骨院・鍼灸院

その痛み、我慢しないで是非ご相談ください

保久田 (本院)		板屋店	
定休日	月曜日	定休日	月曜日
平日	18:30まで	平日	19:00まで
土曜・祝日	17:00まで	土曜・祝日	17:00まで
日曜	12:00まで	日曜	12:00まで
宮古市保久田4-27 0193-63-0641		宮古市板屋1-2-14 0193-65-1715	

ホームページ <http://www.topteam.co.jp>

予約はこちら→



◆次の季題「クロッカス」「寒明けける」※2月6日(火)必着  
 ◆応募は一人3句までです。◆いただいた句を添削することがあります。◆はがきまたは封書で、句のほかに住所・氏名、ふりがな、電話番号を書いて、〒027-8501 (住所不要) 宮古市役所「広報みやこ」係へ応募してください。  
 ◆今回の投稿者は26人でした。ありがとうございました。

【選者より】○季語は一句に一つが基本です。歳時記をご参照ください。  
 ○住所、氏名、電話番号を書いてください。○小中高生の作品歓迎。  
 ◇選者詠「老犬に合わせる散歩冬うらら 白沙」

## 津軽石の郷土芸能と鮭漁

市教育委員会文化課 編

毎年11月末に津軽石郷土芸能祭が行われ、<sup>きやうどわら</sup>栄通太鼓・<sup>しんまちだいかぐら</sup>新町太神楽・根井沢剣舞・津軽石さんさ踊り・<sup>のり</sup>法の脇獅子舞が披露されています。そして、どの団体も8月16日に行われる津軽石稲荷神社の祭りで神輿の御供をして、踊りを奉納しています。小中学生も参加し、地域が一体となる祭りです。この祭りは、大漁成就の神様「アンバサマ」を奉る祭りで、特に鮭の豊漁を願ってきました。

鮭のまち津軽石は、江戸時代から津軽石川で<sup>まけどめりよう</sup>鮭留漁を行い、江戸に出荷されたものは「南部鼻曲り鮭」として有名になりました。

昔から鮭に恵まれ、共に生きてきた津軽石地区ですが、実は明治時代になってから漁業制度

が変わり、自分たちで鮭漁ができなくなります。明治末期に人工ふ化を条件に鮭漁が許可される制度になり、全国に先駆けて人工ふ化に取り組んでいた津軽石村漁業組合として、再び鮭漁を行うことが認められました。

このことを機に、鮭の大漁を願ってアンバサマをまつり、津軽石地域をあげて祭りが行われるようになりました。津軽石の郷土芸能は、大正時代にアンバ祭りに参加して現在の形になり、これまで踊り継がれてきたと言われています。



神輿を迎える新町太神楽



アンバ祭りで踊る法の脇獅子舞



アンバ祭りで踊る津軽石さんさ

に、市では義援金を受け付ける募金箱を設置しているほか、物資の支援や人的支援の準備などを進めているところです。被災した方々が、1日も早く、心休まる生活に戻ることができるよう、関係機関と連携しながら、精一杯のお力添えをさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。



1月7日の「田老地区新春のつどい」で鏡開きをする山本市長（右から3番目）

令和6年は、宮古・田老・新里・川井の4地域で新年交賀会や新春の集いが開かれました。特に、田老・新里・川井での開催は、コロナ禍を経て4年振りの開催でした。久しぶりに地域の皆様のお顔を見て、お話しをすることができ、とても嬉しかったです。今年も、よりよい地域づくりを努めていかなければと、思いを新たにしました。

一方、どの地域でも聞こえてきたのが、1月1日に発生した、能登半島地震に対する、お悔やみや、お見舞いの言葉でした。宮古市では東日本大震災を体験していることもあり、皆さん自分ごとのように心を痛めている様子でした。私も、連日報道されている被災したまちの様子を見て、13年前の宮古の風景が思い出され、いたたまれない思いでいっぱいです。

現在、市では義援金を受け付ける募金箱を設置しているほか、物資の支援や人的支援の準備などを進めているところです。被災した方々が、1日も早く、心休まる生活に戻ることができるよう、関係機関と連携しながら、精一杯のお力添えをさせていただきます。皆様のご協力をお願いいたします。

### 市長のひとり言

### 〔広告〕

大いなる開拓人生をヒロセ電機とともに。

**HRS 東北ヒロセ電機株式会社**  
本社・工場/岩手県宮古市赤前第二地割21番地2

〔広告〕

広報みやこでは、掲載を希望する広告を随時募集中です。詳しくは市ホームページ（[https://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/koho/kohomiyakokokubosyuu.html](https://www.city.miyako.iwate.jp/kikaku/koho/kohomiyakokokokubosyuu.html)）をご覧ください。

■規格 縦45<sup>ミリ</sup>×横81<sup>ミリ</sup>  
■問い合わせ 市企画課広報係（市役所4階、☎68-9065）